

## 資料1 外部データセンター機能要件表

仕様内容		必須推奨	対応可否	摘要
1 資格要件	(1) 一般財団法人日本品質保証機構が認証する情報セキュリティマネジメントシステム(ISO/IEC 27001)を取得しているデータセンターであること。	必須		
2 立地要件	(1) データセンターの所在地は、原則日本国内であり、データセンター専用機能部分を持つ建物であること。	推奨		
	(2) データセンターの所在地は、行政機関が公開している津波想定地域及び浸水想定地域に該当しないこと。また、過去に液状化被害のあった場所ではないこと。	推奨		
	(3) データセンターの所在地は、公共交通機関を利用して往来ができる場所にあること。	推奨		
	(4) 統合型校務支援システムを構築する機器等を設置する建造物は、建築基準法に準拠し、また、消防法の許可を受けている建物であること。	推奨		
3 セキュリティ対策	(1) データセンターの施設設備として、監視カメラ等による入退管理・監視機能を有していること。	必須		
	(2) データセンターにおいて、統合型校務支援システムを構築する機器等を設置する室(以下、「サーバ室」という。)には入退室の状況等を録画監視又は記録している機能を有していること。	必須		
	(3) サーバ室への入退室の際は、ICカード又は生体認証を使用し、入退室の記録管理ができること。	必須		
4 耐震設備	(1) データセンターは、建築基準法で規定されている耐震性能を満たし、震度6強に耐えられる建造物であること。	推奨		
	(2) データセンターの建造物は、免震構造、耐震構造又は制震構造を有していること。	推奨		
5 電源設備	(1) 無停電電源装置及び非常用自家発電装置を備え、商用停電や電気設備の障害が発生した場合でも、サービスの提供が継続できること。	必須		
	(2) 無停電電源装置は2系統以上備えること。	必須		
	(3) 自家発電設備は、商用電力の供給が止まった場合でも、停止から1分以内(この間はUPSから電力供給)に電力が供給できること。	必須		
	(4) 非常用自家発電装置は、20時間以上給電可能であること。	推奨		
	(5) 商用電源の受電引き込みは、異なる受電の電源系統を持ち、データセンター内の配電系統も2つ以上の経路があること。	推奨		
6 防災対策設備	(1) 自動火災報知設備、消火設備(サーバ室にあつてはガス系消火設備)が設置されていること。	必須		
	(2) サーバ室には不燃材が使用されていること。	必須		
	(3) 非常放送設備、防火防排煙設備、各種消火設備が連動していること。	必須		
7 空調設備	(1) サーバ室は適温・適湿に保つ空調機能を有していること。	必須		
	(2) 空調設備機器は、障害対応のため予備機器を設置していること。	推奨		
	(3) 局所的熱溜まりを発生させないこと。	必須		
8 安全区域	(1) サーバ設置スペースはケージ又はラックごとに施錠管理され、他者がアクセスできない構造であること。	必須		
	(2) 不正侵入の検知・防御が可能なこと。	必須		
	(3) 入室ドアそのものが容易に破壊されないような対策、窓なしとする等外部から容易に見通せない対策が施されていること。	必須		
9 障害対策	(1) 構築するシステム構成は、冗長構成とし単一の構成としないこと。	必須		
	(2) システムにおいて保存されるデータは二重化され、記録装置(ディスク等)の障害発生時には自動的に障害復旧が行えること。	必須		
10 ネットワーク設備	(1) IP-VPN接続の対応が可能であること。	必須		
	(2) 構築する統合型校務支援システムにおけるネットワークと他の外部ネットワーク(インターネット)とは論理的に分離されていること。	必須		